


## 令和2年度 上下水道部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
上下水道部長 松本 孝之  	<p><b>●使命</b>            私たち上下水道部は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフライン事業を担っています。上水道は、安全・安心な活力ある水道を基本理念に、災害に強い安全・安心で良質な水を安定的に供給します。下水道は、快適な生活環境の整備と日々の生活で汚した水を高度処理し水質保全を図り、豊かな水環境を守ります。</p> <p><b>●基本方針</b></p> ①安全で安心な水を供給するため、水質管理・検査体制の充実や浄水施設の高度処理化に取り組みます。 ②効率的で災害に強い水道システムを構築するため、応急給水体制等の強化や、施設や管路の適正規模での更新や耐震化、統廃合を進めます。 ③健全で持続可能な事業経営を推進するため、施設や管路の適切な維持管理や投資の合理化、労働生産性の向上に努めます。 ④効率的な運営管理を見据えた整備計画を進めます。 ⑤下水道事業の効率化、維持管理コスト縮減、供用開始区域内の接続推進を図り経営の健全化を進めます。	所管課	上水道業務課・上水道施設課・下水道課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			35人	6人	41人
		水道事業会計	3,167,738 千円		
		下水道事業会計	3,112,821 千円		
計	6,280,559 千円				
(うち人件費)	(259,898 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	基幹管路の耐震化及び災害時応急給水体制の強化  災害時の応急給水のため、応急給水設備を設置します。	水道配水用ポリエチレン管口径150mm、延長240mの布設工事を3月末までに行います。  瀬戸内市消防本部及び邑久調整池管理道の2箇所に応急給水設備を3月末までに設置します。	10月工事発注に向け準備中です。  応急給水設備は2箇所とも、工事中です。	工事発注済みで現在工事中です。  11月末に2箇所の設置工事を完了しています。	水道配水用ポリエチレン管口径150mm、延長218mの布設替工事が完了しました。  同左

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	浄水場の機能強化及び水質管理・検査の強化	<p>福山浄水場の高度処理化や耐震化、適正規模での更新整備事業を継続します。</p> <p>浄水場における水質管理を徹底し水質検査計画に沿った検査を実施します。</p>	<p>天日乾燥床の築造工事、既設汚泥処理施設の撤去工事及び場内整備工事を実施し、8月末までにすべての事業を完了します。</p> <p>水安全計画を策定し、水質の安全管理を行います。また、法定の水質検査並びに臨時検査を実施します。</p>	<p>事業は8月末に完了し、9月1日から全施設の供用を開始しています。</p> <p>水安全計画は、10月末までに策定の予定です。法定の水質検査は計画に沿って実施しています。</p>	<p>同左</p> <p>水安全計画の策定は完了し、計画に基づいた安全管理を実施しています。また、法定の水質検査について、引き続き実施します。</p>	<p>同左</p> <p>法定の水質検査は全て完了し、水質基準に適合していました。</p>
3	適切な維持管理による有収率の向上	有収率の向上を目指し、老朽管更新工事の実施と漏水の多い地域の調査を行います。	<p>市内4箇所にて老朽化した塩化ビニル管を水道配水用ポリエチレン管、口径50mm～75mm、総延長約1,810mの布設替を3月末までに行います。</p> <p>市内の漏水の多い地域を選別して漏水調査を行います。</p>	<p>2箇所は業者が決定し工事中です。残りの2箇所については10月工事発注に向けて準備中です。</p> <p>第1期として市内15.9km（11地区）で調査を完了しています。第2期についても契約を完了し調査準備中です。</p>	<p>1箇所については、延長約240mの布設替工事を完了していません。3箇所は現在工事中です。</p> <p>第2期として市内13.4km（16地区）で調査を完了しています。第3期も契約を完了し調査準備中です。</p>	<p>市内4箇所の水道配水用ポリエチレン管口径50～75mm、総延長約1,920mの布設替工事が完了しました。</p> <p>合計43地区の漏水調査を実施しました。総延長44km、給水戸数2,204戸を調査し、漏水28件を発見し全て修繕を完了しました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化のため、下水道への接続推進を図ります。供用開始予定地区へのパンフレット配布、広報紙やホームページへの記事掲載、接続に関するアンケート調査やダイレクトメール等により未接続世帯に対し、積極的に働きかけを行い、接続件数の向上を目指します。	供用開始地区への下水道接続率 79.5%を目指します。	供用開始から3年経過しても接続していない世帯の抽出作業が完了しました。今後、ダイレクトメールを送付し、接続推進を行います。	広報紙「広報せとうち」の9月号及び2月号に下水道への早期接続のお願いを掲載しました。また、ダイレクトメールについては、現在発送準備を進めています。	接続率は79.6%になりました。3月末に排水設備接続推進のダイレクトメールを対象の世帯へ送付しました。
5	施設の適正な管理・運営	ストックマネジメント計画及び最適整備構想に基づく詳細設計業務等が完成しました。今後、補助事業を活用しながら計画的に処理場及び管路の改修工事を実施していきます。また、長期的な視野に立って維持管理コストの縮減を目指します。	福元グリーンタウン及び福岡住宅地内の経年変化により劣化した全てのマンホール蓋について、12月末までに蓋の更新工事を完成させます (N=263基)。農業集落排水事業について、今後の改修工事のための事業認可手続きを進めます。また、施設の統廃合について、検討業務を3月末までに完成させます。	人孔蓋更新工事については、8月中旬に契約を締結しました。10月中旬頃から蓋の取替作業を実施していきます。農業集落排水事業の認可手続きは、県ヒアリングまで終了し、今後中国四国農政局に計画書を提出します。施設の統廃合検討は、現在業者選定中であり、業者が決まり次第、検討を進めます。	人孔蓋更新工事については、現場の諸条件により、2月中旬に完成します。農業集落排水事業の認可手続きについては、中国四国農政局に提出しました。施設の統廃合検討業務については、業者委託を行い、検討を進めています。	福元グリーンタウン及び福岡住宅地内のマンホール蓋の更新が完了しました。同左。施設の統廃合検討業務も完了し、検討結果がまとまりました。